

読書のすすめ



土岐市図書館 ☎1253



魅惑の猫たち

数年前から「犬派」より「猫派」が上回ったらしいと聞きました。そのためか、可愛らしい猫の本がたくさん出版されているのを見ます。今回は、その中からいくつか紹介します。

侯野温子『やきもちやきのねこ』。自分の見た目にコンプレックスを持ち、自分以外のみんなにやきもちをやいている可愛らしい「のら猫」の話です。自分の長所や魅力は、自分ではなかなか気が付かないものそうですね。

くるねこ大和『はぴはぴくるねこ』。2006年に原作となるブログが開設されてから、今年で15年目。愛知県出身の著者とその飼い猫、保護猫、一時預かりの猫たちによる賑やかな日常にほっこりします。ブログでは猫の譲渡会のお知らせもありますので、猫を家族に迎えたいと考えている方は、一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

岩合光昭『岩合光昭の世界ネコ歩き』。猫の写真で有名な動物写真家の岩合光昭さんによる、猫の写真集です。2017年と今年の1月には、写真集と同名の映画が公開されました。岩合さんといえば、猫の撮影をしていると猫たちの方から岩合さんに近づいてきてくれるとか。うらやましい限りです。猫に好かれる岩合さんの撮る猫たちはやっぱり可愛いので、猫好きにはおすすすめです。

私の一冊

早乙女勝元／著 田島征三／絵
猫は生きている



土岐市立妻木小学校
図書支援員
加知 恵子さん

私の一冊 寄稿者募集

あなたのオススメの一冊を紹介しませんか。
お気軽に問い合わせください。

妻木小学校の図書室では、月毎にテーマを決めて図書の展示を行っています。先日、「猫」をテーマに展示をしようと図書を整理していると、「猫は生きている」という背表紙が目にとまりました。表紙には防空頭巾の幼い女の子が描かれ、読み進めていくと感動で涙が止まりませんでした。

物語は寒さの厳しかった東京大空襲の夜の話です。主人公の昌男を含め、幼子三人の子を持つ母親一家とその家の縁の下に住みついた四匹の子を持つ野良の母猫一家が炎の中を逃げ惑いながらもお互いを気遣い、懸命に生きようとするストーリーです。猫と戦争、という少し違和感のあるギャップが、感動をより大きくしたのかもしれない。

この本は戦争の惨禍を生々しく伝えるだけでなく猫と人間の交流を通して、より一層、人としての慈愛や、生き方の崇高さを教えてくれる名作だと思えます。

お勧めします。



5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
						1	火～金曜日 午前10時～午後7時
2	3	4	5	6	7	8	土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
9	10	11	12	13	14	15	※変更があった場合は、 図書館のHPやTwitter でお知らせします。
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

お知らせ

4月23日から5月12日まで「こども読書週間」です。それに合わせて、4月24日(土)に、土岐市図書館隣土岐川公園で午前11時～午後3時まで、児童書のリサイクル市を開催します。また、午後2時から絵本の読みきかせも土岐川公園にて開催します。皆さまのお越しをお待ちしています。(※雨天中止)